

令和7年度 湧水町立轟小学校グランドデザイン

日本国憲法
社会の動向

教育基本法
児童の実態

学習指導要領
学校の実態

県教育振興基本計画
保護者の願い

町教育振興基本計画及び重点施策
校区民の願い

湧水町の教育・・・「共に磨きあい 明日に輝く 心豊かでたくましい人づくり」【明・温・厳の教育】
「授業で人が育つ」「体験・活動で人が育つ」

学校教育目標

心豊かでたくましく「自ら考え行動する」轟っ子の育成
～にこにこ・はきはき・ぐんぐん～

めざす学校像

- ・ 子どもの「生きる力」を育む学校
- ・ 子どもが生き生きと活動する楽しい学校
- ・ 環境が整備され、安心・安全で落ち着きのある学校
- ・ 保護者・地域から信頼され、開かれた学校

めざす子ども像

- ・ やさしく（にこにこ）
礼儀正しく、思いやりのある子ども
- ・ かしこく（はきはき）
目標をもち、自分でよく考え、進んで学ぼうとする子ども
- ・ たくましく（ぐんぐん）
健康・安全に心がけ、粘り強く頑張る子ども

具体的な重点実践項目

やさしく

【つなげる生徒指導】

- 豊かな人権感覚を育てる教育の推進
 - ・ いじめ・不登校の防止と早期発見、早期対応、再発防止、細かな共有
 - ・ 現代の人権課題への取組
- 思いやりの心や規範意識を育てる道徳教育の充実
 - ・ 心に届くあいさつ（先に、笑顔で、語先後礼、返事等）
 - ・ 「お願いします・ありがとうございます」の感謝の心
- 自己教育力の充実
 - ・ 自尊感情の醸成（個性や特性を発揮する場面づくり、行事の振り返り、失敗を生かす学び、地域社会への参画）
 - ・ 特別活動・総合的な学習の時間の充実
 - ・ 清掃・緑化活動の充実（気付く・段取る・協調する・達成する）

かしこく

【主体的に学ぶ力の育成】

- 「一人一人が自ら考える」ための授業改善
 - ・ テーマ研修を核とした自由進度学習の推進
 - ・ 各種検査の分析・実態把握
- 表現力をみがく取組の充実
 - ・ 思考の跡を残す書く活動
 - ・ 自分の考えを自分の言葉で書く・発表する活動
- 基礎・基本の定着とICT機器の活用力向上
 - ・ 学習ルールの定着（授業のきまり8、授業づくりのポイント6）
 - ・ 聞く力・話す力の育成
 - ・ ICT機器の日常的活用
- 望ましい読書習慣の形成と読書力の量的及び質的向上
 - ・ さわやか読書の充実
 - ・ 家庭読書の習慣化（毎週水曜日「読書の日」）

たくましく

【健康・安全の徹底】

- 体育指導の充実
 - ・ 教科体育の研究（楽しさ・体力向上）
 - ・ 体力テストの課題克服（教科体育での強化策）
 - ・ 「チャレンジかごしま」「遊・友・湧水島」の継続的な取組（ふれあい体育、運動会等での発表）
 - ・ 特色ある体力づくりの継続（かけ足、一輪車、長縄）
- 基本的生活習慣の定着
 - ・ 「スイッチオン5!」（早寝・早起き・洗顔・朝ごはん・歯磨き）
 - ・ 「生活リズムチェック」
- 健康教育の推進
 - ・ 「口腔の健康づくり」の推進
 - ・ 手洗い・うがいの励行
- 危険予知能力と危険回避能力の育成
 - ・ 避難訓練実施（予防・初期対応・避難）
 - ・ 地区との連携

【特色ある教育活動の推進】

- ICT機器の積極的活用⇒授業や家庭学習等での積極的活用
- 積極的な地域の人材・素材の活用（コミュニティ・スクールの充実、SDGsの視点）
⇒本物を知り、自己の成長を感じる体験〔人・歴史・自然・文化・産業・施設（JR、路線バス）等〕
自己の役割の実感の醸成（ふるさとづくり・持続可能な社会への参画意識）
- 「とどろきの景観」を通じた学習⇒農作物栽培、カヌー体験、国スポ（応援）、ふるさとへの誇りと自尊感情の醸成
- 地域行事への積極的な参加、伝統文化の継承⇒地域とのつながり（地域の人々とのコミュニケーション等）
価値ある伝統芸能の体感

モチベーションと危機管理意識の高い教職員

- ◎ 人権教育はすべての教育の基本 ⇒ 「自分・仲間・学校・ふるさとを誇りに思う」「世界に思いを馳せる」
- ◎ チーム力をUP（協働意識の醸成） ⇒ 「教職員・児童・PTA・地域・町内小・中学校、幼稚園、保育園、子ども園、教育委員会、関係機関」
「情報収集・共有」「目的を明確にして責任を果たす」「業務改善1アクション1トライ」
- ◎ 教育者として一人の人間として夢をもつ ⇒ 「服務規律の厳正確保」「自己研鑽」「情熱と誠意」「家族との時間」

本質を見抜く感性
当事者意識
Mom!



防災
防犯
生徒指導
緊急事態